

【事業者向け】 放課後等デイサービス評価表 (平成30年度)



| | | チェック項目 | はい | どちらでもない | いいえ | ご意見 |
|----------|---|---|----|---------|-----|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 5 | 0 | 0 | 指導訓練室等スペースは1人あたり2.47㎡と1人当たりの床面積：2.47㎡（利用定員10人：24.7㎡必要） ⇒ダイニングと和室を合わせて33.1㎡あり、基準上満たしている。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 5 | 0 | 0 | 10人定員の事業所における指導員又は保育士の合計数：2人以上、児童発達支援管理責任者：1人以上 ⇒指導員7人(そのうち保育士2人、児童指導員2人)を配置 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 2 | 2 | 1 | 階段部分に手すりを設置し、子どもたちが安全に昇り降りすることができるように配慮。 スロープに関しては、現在のところ設置をすることは考えてはいない。(対象児童がいないため) |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 3 | 2 | 0 | 目標設定→利用者の目標設定は個別支援計画にて記載。従業員の目標設定をは定めておらず、改善の余地がある。 振り返り→毎朝の振り返りを実施。 |
| | ⑤ | 保護者向け評価質を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 4 | 1 | 0 | 保護者向けアンケートを年度末に実施。 苦情・要望があった際には内容を受付表に記入し改善に努めている。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 0 | 4 | 1 | 自己評価の結果は集計・総評をし、会社ホームページで公開予定 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 0 | 5 | 0 | 第三者委員会は設置していないが、社長・ASOBI管理者・MANABI管理者にて評価結果を総表し、業務改善につなげていく予定 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 5 | 0 | 0 | 案内のあった研修を掲示したり、参加するように促したりしている。 外部の研修を今まで以上に探し、従業員に提案できるようにしていく。 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 4 | 1 | 0 | 半年に1回の面談を実施。S-M社会生活能力検査シートを基にアセスメントを行い、面談時に聞き取ったニーズ等を放課後等デイサービス計画を作成している |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 3 | 2 | 0 | S-M社会生活能力検査シートを使用。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 4 | 1 | 0 | 月間予定表を予約チームを中心に作成。 |

| | | | | | | |
|-------------------|--|--|---|---|--|--|
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 4 | 1 | 0 | 月ごとにテーマと活動内容を決めている。そのテーマに沿った日々の活動内容を決定していく。 |
| 適切な支援の提供 | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 5 | 0 | 0 | 平日、休日に関しては月のテーマ、日々の活動に沿って行っている。 夏休みに関しては「夏休みに頑張ること」とし、個々に合った目標を2つ程設けるようにしている。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 4 | 1 | 0 | 子どもの状況に応じて、振り返り時に簡単なケース会議(話し合い)を行うようにしている。 ケース会議の内容や日々の振り返りを踏まえてサービス計画を作成している。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 5 | 0 | 0 | 毎朝の振り返り時に確認をするようにしている。 |
| | ⑯ | 支援終了時には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 4 | 1 | 0 | 送迎時の内容、支援内容等を個人記録を記入しながら、職員間で話し合うように心がけている。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 5 | 0 | 0 | 個人記録を利用時に記入、場合によっては話し合いをする。 |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 4 | 1 | 0 | 最低でも半年に1回モニタリングを行い、保護者とサービス計画の見直しを行っている。 |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | 2 | 3 | 0 | ガイドラインの総則の基本活動：①自立支援と日常生活の充実のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供 →複数組み合わせ支援を行っている。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 4 | 1 | 0 | 基本的には児童発達支援管理責任者が参加している。場合によっては従事者にも参加をしてもらうようにしていく。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 4 | 1 | 0 | 年間計画は毎年4月に提供してもらっている。行事予定等は都度提供してもらうようにしている。 連絡調整は専用の携帯を管理者が常時持つようにし、すぐに対応することができるようにしている。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 1 | 4 | 0 | 医療的ケア児はいないが、協力医として「はとりこどもクリニック水野Dr.」に依頼済み。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 0 | 5 | 0 | 小学校1年生の児童に関しては就学前に利用していた保育園等、それ以降の児童に関しては学校、今までに通っていた放課後等デイサービスなどの児童発達支援管理責任者と経緯等を話すことができるように連携を取っている。 |
| ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 0 | 4 | 1 | 現在、放課後等デイサービスから移行対象の児童はいないが、情報は個人個人でまとめ、必要に応じて情報提供をする準備体制は整っている。 | |

| | | | | | | |
|------------|-------------------------------------|--|---|---|---|--|
| 保護者との連携 | ②⑤ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 3 | 2 | 0 | 発達支援センターきらりの研修に参加をする機会を年に何回か設けている。 |
| | ②⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 1 | 3 | 1 | 定期的に児童館を利用し、同じ空間で過ごす機会を提供している。 今まで以上に外部の子ども達との活動をする機会を提供してけるようにしていく。 |
| 保護者への説明責任等 | ②⑦ | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 3 | 2 | 0 | (地域自立支援)協議会等への参加はしていないが、子育て支援会議に従業員を参加させている |
| | ②⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 5 | 0 | 0 | 送迎時や電話にて日頃の子どもの状況や成長を保護者と伝えあうようにし、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができるようにしている。 |
| | ②⑨ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 1 | 4 | 0 | 以前までは保護者との食事会を設けていたが、ここ最近はできていない。 定期的に保護者との会を設けるようにしていく。 |
| | ③⑩ | 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 5 | 0 | 0 | 契約時に運営規程、支援の内容、利用者負担等について説明を行っている。 その他、問い合わせがあった際には管理者から説明をするようにしている。従業員も説明ができるようにしていく。 |
| | ③⑪ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 5 | 0 | 0 | 子育て経験のある従業員を中心に相談に応じ、必要な助言と支援を行っていくようにしている。 |
| | ③⑫ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 3 | 2 | 0 | 以前までは保護者との食事会を設けていたが、ここ最近はできていない。 定期的に保護者との会を設けるようにしていく。 |
| | ③⑬ | 子どもや保護者から苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 5 | 0 | 0 | 苦情・要望があった際には内容を受付表に記入し改善に努めている。 急を要する件に関しては社長・管理者がその日のうちに保護者に連絡、対応をするようにしている。 |
| | ③⑭ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 3 | 2 | 0 | Facebookを毎日更新をし、活動内容や児童の様子を発信していた。 現在個人情報等の観点から見直しをすることになっている。月1回程度おたよりを発行するようしていく予定。 |
| | ③⑮ | 個人情報に十分注意しているか | 4 | 0 | 1 | 個人情報に関わるものの持ち出しの際には細心の注意を払うようにしている。 さらに徹底できるように職員間で注意しあっていくようにする。 |
| | ③⑯ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 5 | 0 | 0 | 障害のある子どもに対して、意思の疎通に絵カードを用いる等の工夫をしている。 |
| ③⑰ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 1 | 1 | 3 | 事業所に招待はしていないが、地域にあるお寺や公園を使用してのイベントを何度か開催している。 | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|---|--|
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 4 | 1 | 0 | 緊急時対応マニュアル(防災マニュアル等)を作成し職員(避難訓練実施日)や保護者(契約時)に周知している。防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは今後早急に作成予定 |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 5 | 0 | 0 | 定期的に避難訓練を実施している。(3ヶ月に1回程度) |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 5 | 0 | 0 | 虐待を防止するためノマニュアル作成、職員に研修参加を促す等を実施するようにする。 |
| 非常時等の対応 | ④① | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス | 3 | 2 | 0 | 身体拘束マニュアルを作成する。保護者に対し今一度マニュアルを基に事前に十分に説明し了解を得るようにしておく。 |
| | ④② | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 3 | 2 | 0 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。が件数があまりにも少ないため、記入→改善を徹底させる。 |
| その他 | ④③ | その他、ASOBIについてご意見、要望などがあれば記入してください | | | | |

